

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	防大(3)学生会館新設等建築その他設計	階数	地上3F
建設地	横須賀市水走1-10-20	構造	RC造
用途地域	第4種風致地区	平均居住人員	1,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2022年9月27日
敷地面積	1,932 m <sup>2</sup>	作成者	榊田建築設計事務所
建築面積	1,181 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月28日
延床面積	3,451 m <sup>2</sup>	確認者	榊田建築設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR京急本線馬堀海岸駅駅から徒歩で6分の第4種風致地区に、事務所単一用途の学生会館を、RC造、3Fにて計画した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し。</li> </ul>
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する建材は、ほぼ全面的にF☆☆☆☆とする。</li> <li>・居室換気量は30m<sup>3</sup>/hとしている。</li> <li>・条例により全館禁煙としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防汚性の高い建材の採用。</li> <li>・耐用年数の長い仕上材を採用。</li> <li>・階高、壁長さ比率を確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し。</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・BEIm=0.76。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽量鉄骨下地、OAフロアを採用。</li> <li>・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCCO<sub>2</sub>排出率=83%。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される